

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区事務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

2011.11 175号



熱心に聖人の御同朋のお心を学ぶ寺族婦人

寺族女性が同朋研修 〜近畿六教区の寺族婦人が集う〜

十月二十日、二十一日の二日間に渡り、「近畿六教区同朋運動推進協議会 寺族女性研修会」が、神戸別院・神戸ポートピアホテルを会場に開催された。

近畿六教区の寺族女性が一堂に集う本研修会は、連続して毎年行われており、今回は六十二名の参加をいただいた。研修会のテーマは「親鸞さまと歩む道」とし、初日は、森本覚修師(近畿同朋運動推進協議会役員/滋賀教区西光寺)を講師に、「なぜ、寺族女性研修会となったのか。その後、全体会にてま

め」の講義が行われ、初日の研修会は終了した。その後、会場をポートピアホテルに移して懇親会が行われ、各教区趣向を凝らした出し物などもあり会は賑わった。翌日は、九時より講義が行われ、講師に岩本孝樹師(近畿同朋運動推進協議会役員/奈良教区常蓮寺)を迎えて、「人権侵害救済法について」との講題で、講義を頂戴した。質疑応答、休憩の後、最後に兵庫教区教務所長より「同朋リーフレットの願い」と題して、この度兵庫教区にて作成したリーフレットについての説明がなされた。

参加者は「初めて出会う方と、女性問題、部落差別と様々なことを話し合ったこと。それぞれの経験から聞かせていただいたことは、大きな学びになった。」

「学ぶこと、気付くこと、差別から解放されること、これらから先も学んでいきたい。」などといった感想をいただいた。



東日本の震災は多くの人の想像を優に超えた。万全の備えだと確信していた防波堤も、最先端の設備を誇る空港も、科学の粋を集めた原発も大自然の猛威には為すすべもなかった。◆そして今、皆が復興に懸命に努力し、遠隔地から多くの者が復興のために物心両面で応援している。浄土真宗を頂く者も例外ではない。でも復興よりもはるかに大切なものがある。◆今回の震災は、人智が築き上げた文明が砂上の楼閣に過ぎなかったことを改めて教えてくれた。そして失った全てを復興し、更に震災前以上のものを築いたところで、所詮それは砂上の楼閣に過ぎない。◆一方、衆生は死んでも生きて、非常時も平時も大丈夫、阿弥陀仏の懐の中にある。天変地異にも阿弥陀仏の支えはゆるぎもない。目覚めればそれが事実である。目覚めればそれが事実である。目覚めればそれが事実である。目覚めればそれが事実である。目覚めればそれが事実である。

岡山県備前市 駒澤勝

11月		12月	
1(火)	仏婦1泊研修旅行 少年連盟役員会	25(金)	アブサラス 組長会ブロック長会
2(水)	別院報恩講習礼	27(日)	神戸別院報恩講(藤井邦磨師 大分教区速見組正善寺 29日まで)
4(金)	アブサラス	30(水)	講師団研修会 御同朋の研修会
5(土)	第一土曜仏教講座(鹿多証道師 仏教音楽研究所指導員/加古川組)	12月	
7(月)	別院仏婦定例法座(帆保真澄師 朝来組)	3(土)	第一土曜仏教講座 第14回ビハーラ活動全国集会(4日まで) 本願寺 播磨中光宗寺
8(火)	寺婦運営委員会	4(日)	門推第52回研修会
9(水)	清風会音楽練習	5(月)	連研部会
12(土)	「御同朋の教学」構築専門委員会	8(木)	年末組長会
15(火)	モダン寺土曜子ども会	10(土)	保育推進者研修会
	仏婦コース練習会	15(木)	仏婦コース練習会 常例法座(16日まで)
	常例法座(網干善一郎師 高砂組 16日まで)	16(金)	蓮華会理事会
16(水)	いのちの日 自死者追悼法要 リハーサル	21(水)	門徒総代会幹事会、評議員会
17(木)	門徒総代会岡山ブロック研修会 岡山北組宝福寺	24(土)	報恩講子どもの集い
21(月)	愛生園真宗同朋会・光明園真宗法話会報恩講 愛生園・光明園		
24(木)	特法協役員会 別院報恩講習礼		

三國連太郎氏監督 「親鸞 白い道」

私は「親鸞 白い道」を通じて、人間親鸞を描くことによって、人間本来の在り方を探ろうとしました。

私が親鸞聖人に魅せられたのは、經典を通じて大衆の心を救ったのではなく、大衆の中で生き、自己を見つめ続けたからです。

多くの人が、特に若い人たちに、聖人の生き様とおして、人間の生きる意味を感じていただければと思います。



この度、親鸞聖人七十五回御遠忌を記念して、兵庫教区・神戸別院大遠忌法要の記念講演でご講演頂いた、三國連太郎氏原作・脚本・監督の映画『親鸞 白い道』がDVD化され、発売されました。

教務所でも取り扱っておりますので、ご希望の方は教務所図書担当までご連絡ください。一枚二千九百四十円(税込)

仏婦手帳販売



二〇一二年(平成二十四年)の兵庫教区仏教婦人会手帳(発行/兵庫教区仏教婦人連盟)の取り扱いが始まりました。

浄土真宗の教章、お仏壇の荘厳や浄土真宗の用語解説、など、さまざまなことが載った便利の良い手帳です。

また、別院の法要・行事予定や教区婦人会の行事の予定なども載っております。

手帳の三カ月のご法話(季節の法話)には、仏婦総連盟講師の嘉屋英嗣師(山口教区岩国組宗玄寺)にご執筆いただきました。多くのご注文をお待ちしております。

ご注文・お問い合わせは教務所仏婦手帳担当(西本・岡橋)まで。

一冊五百円。

敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

前田千恵(朝来組光明寺) 平成二十三年七月二十四日六十六歳
藤長佐奈江(氷上西組正覚寺前坊守) 平成二十三年九月二十日八十二歳
楠 哲雄(赤穂南組永應寺住職) 平成二十三年九月二十四日五十六歳
山本宣昭(淡路組萬行寺前住職) 平成二十三年十月二日八十二歳
松本愛子(氷上東組光明寺前坊守) 平成二十三年十月七日八十五歳
辻野尊照(淡路組専修寺住職) 平成二十三年十月十五日七十九歳

【敬称略】
十月十五日現在

自分自身の問題として 別院で差別報告の糾弾学習会

部解放同盟「兵庫教区」より発信された連続差別投書事件」糾弾学習会が、十月六日別院にて開催され、対応委員会委員・基幹運動推進委員・同朋講座講師・教区・テーマ講師など四十七名が参加した。



挨拶に立たれた坂本県連委員長

学習会は「本尊への合掌・礼拝の後、教務所長挨拶により始まった。挨拶の中で教務所長は、昨年十二月に着任してから今日までの取り組みについて次のように説明、報告を行った。

一、取り組みの一番目は、同朋リーフレット作成と活用について差別事件対応専門部会で協議を重ね、五月に完成しました。作成にあたっては、「私たち一人ひとりが差別する者、される者、私はどうあるべきか? 傍観者であってはいけない」と

の思いで、私の立場はどこかを問う内容にした。各組で開催される同朋講座や、寺婦・仏婦・総代会・仏壮・門徒推進員の研修会でも、このリーフレットを活用し研修をしていただいている。

二、『同朋講座における差別発言事件』では、行為者である講師が同朋講師団研修会を受講していなかったことから、同研修会を六月二十四日・二十五日の二日間におわたって開催し、必ず出席いただいた方に同朋講座の講師として出講していただくこととした。

三、差別事件対応専門部会に六月十四日より作業部会を設置し、それぞれ個人名・地名などをスミ消しの資料で投書内容を検証してきたが、より深く投書を書いた差別者の意図を分析するために、はスミ消しの資料では、極めて困難であると判断



教区より47名、県連より8名の参加

四、基幹運動推進委員会の教学伝道部門に「御同朋の教学」構築専門部会を設置し、差別を許さない教区体制に方向づけしていくため、そのための教学とは何かを検討に入った。

そのうえで、報告書をまとめていく作業をし、今後の課題を明らかにした上で、今年度の末には、親鸞聖人に、教団や教区で僧侶による差別事件が連続して惹起している現状をお詫びする法要をお勤めしたい、と決意を述べた。

それに対して、坂本三郎部解放同盟兵庫県連合会委員長は、「これまで

ともに学びとさせていた
だきたい。

差別投書事件では、名差された人の思いをどのように捉えているのか。また、誹謗中傷するため部落差別を意味する言葉を使われることに、私達はどのような思いであるか考えていただきたいと思えます」と挨拶した。

その後、教区より取り組みの説明がされ、「同朋講座における差別発言事件」での行為者の意識改革では、行為者が本山や教区などで様々な講師をつとめる著名な方であるので影響力がある。後進に対してしっかりと自らの差別発言について説明する責任があるとの見解が示されました。

「態度を示してください」という当該寺院住職の言葉をどのように行為者が受け止めていくかが課題となった。

また、「兵庫教区内より発信された連続差別投書事件」での質問では、「なぜこのような投書が出されたのか」という解放同盟からの問いに対し、

教区の見解として、「同朋講座における差別発言事件」への教区の対応が厳しすぎる、という間違っ

た理解をして、対応に真剣に取り組んでいる人を名ざしして誹謗中傷している。同朋運動への挑戦と受け止めていることを伝えると。

参加者の中からの意見では、ハガキの内容をみると、「同朋講座における差別発言事件」の行為者がいじめられているとか、かわいそうとか書いた上で、差別発言があった当日の同朋講座の出席者を何故手にかけてたなど、投書を書いた者の主張が見受けられるのではないかと?との発言があった。

部解放同盟からは、こうして熱心に取り組んでおられる中に、投書事件が起こるといっては、組織全体として閉塞感があるのではとの意見もあった。

最後には、今後も差別・被差別からの解放をめざして、教団・教区、自分自身の問題として取り組んでいくことが確認された。

図書コーナー拡大



僧侶・門信徒ばかりでなく幼児向けまで揃っています

教区における文書伝道の充実を図るために、教務所図書販売コーナー(教務所二階受付前)が拡大された。

従来のスペースに比べて約三倍の広さとなった販売コーナーには、本願寺出版社の新書・売れ筋の本など、主な出版物が充実。

また、コーナー拡大に併せて、自照社出版の書籍の取り扱いも行われることとなり、両社合せて四百種類以上の浄土真宗関連書籍が取り扱われることとなった。

本願寺ブックセンター

に行かずとも、実際に手に取って書籍の内容を確認できると別院参拝者にも好評。一人でも多くの方に書籍を手にとっていただき、浄土真宗のみ教えにであっていただく、教区における文書伝道の最前線としての、この度の図書コーナー拡大。教務所にお立ち寄りの際は、ぜひ一度ご覧ください。

念仏相続、御法義繁盛のため、次代を担う若手僧侶、寺院子弟、後継者の育成のために、引き続き図書(主に仏教書)の寄贈をお願いしております。

【電話】〇七八(三四一)五九九九

仏書の寄贈を いただきました



寄贈いただいた沢山の仏書

支援金をいただきました
五十六万九千八百八十八円(総額)
義援金は千八百五十七万九千三百三十九円(総額)
(十月十七日現在)

次の方々より支援金・義援金を頂きました。【支援金】岡山南組西願寺五十五万三千九百二十八円

▽神戸湊組光明寺九千円
【義援金】兵庫教区門徒推進員連絡協議会一万円
▽神戸西組佛心寺五万七千円
▽阪神西組乗誓寺四万七千円
▽阪神南組浄徳寺門信徒一同三万円
▽高砂組玄長寺仏教婦人会一万円
▽高砂組玄長寺三万円
▽宍粟組安楽寺三万四千五百五十五円
▽北摂組願寺住職藤岡義顕三万円
▽北摂組願寺門徒五万五千円
▽神戸湊組光明寺六万六千三百八十九円
▽西法山尊光寺門信徒会九万七千円
※支援金・義援金の募集は引き続き行っております。